

壮瞥町のホームページを訪問いただきありがとうございます。

全国各地で森林火災が発生しております。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を祈念するところであります。

伊達市、洞爺湖町と本町にまたがる活火山 有珠山 は20世紀4回噴火しています。
平成12年（2000年）3月31日の噴火から、25年が経過しました。

3市町では、噴火の再来に備え、さまざまな取組を実施しておりますが、これからもソフト・ハード両面から「火山と共生する一人・街づくり」を推進し、安全で安心して暮らせる地域の創生を、関係機関、住民の皆さまと連携し、推進していく考えです。

雪解けがすすみ、待望の春が訪れ、令和7年度がスタートしました。

第5次壮瞥町まちづくり総合計画や3月の定例議会でお示しました 町政執行方針に基づき、議決をいただいた予算を着実に執行し、壮瞥町を「次世代にしっかりと継承」していくため、本年度も取り組んでまいります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年4月1日 壮瞥町長 田鍋 敏也

壮瞥町のホームページを訪問いただきありがとうございます。

昨年度の壮瞥町の観光客入込数は179万人で、コロナ前の水準まで回復しました。その内、宿泊者数は31万人で、コロナ前（令和元年度）を上回りました。事業者の皆さまの誘客・営業努力の賜物と敬意を表し感謝を申し上げます。

壮瞥中学校の新校舎が竣工しました。昭和51年度に整備され、老朽化が課題となっていた校舎については、平成29年4月の久保内中学校との統合を見据え、平成26年から教育委員会を中心に、整備の検討がなされてきたところです。

平成30年3月に基本的な方針を示した後、財政の健全化に取り組み、文部科学省などとの協議を進め、令和3年度には基本構想を策定し、令和5年度から工事に着手し、このほど完成しました。

新校舎は壮瞥小学校と渡り廊下で結ばれ、保育所にも隣接していることから、新たな環境のもとで、保・小・中連携がより一層強固になるものと期待しております。これまで、ご理解とご協力をいただいた皆さまに感謝を申し上げます。

これからも、第5次壮瞥町まちづくり総合計画に位置付けた施策を着実に推進し、「笑顔あふれる元気なまち～そうべつ～」を創ってまいります。

応援をよろしくお願いいたします。

令和7年7月1日 壮瞥町長 田鍋 敏也

壮瞥町のホームページを訪問いただきありがとうございます。

くだものの里、壮瞥町は、りんご、ぶどうなど「くだもの狩り」のシーズンを迎えました。

第49回りんごまつりは、アニメゲームキャラクターとコラボした「スタンプラリー形式」で、10月10日から11月16日まで開催されるのに加え、物産市を10月19日開催されます。道の駅や直売所、温泉宿や昭和新山の土産店、ロープウェイ、熊牧場、飲食店等、町内あげてご来訪をお待ちしております。

9月定例議会で令和6年度の決算が認定されました。令和3～5年度、継続していた実質単年度収支の黒字は確保できず、基金保有額も5年振りに減額となりました。この要因は、過疎法に基づく固定資産の課税免除額に関し、地方交付税の算定が翌年度処理となったため、実質、約4千700万円の歳入減が生じたためと分析しております。

概要は広報10月号の特集P4～7に掲載しています。

これからも、予算の適切な執行管理に努めることを基本に、国や道の施策の活用や、財源の確保を図り、改善に努め、健全な財政運営のもと、課題解決に向け、計画的に施策を推進し、「笑顔あふれる元気なまち～そうべつ～」の実現に向け、尽力してまいります。

温かいご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年10月1日 壮瞥町長 田鍋 敏也